

# 1 単元名 中世の日本

## 「武士の台頭と鎌倉幕府」(全4時間)

### 2 単元のねらい

武士が台頭し、武家政権が成立した時代の流れを理解するとともに、鎌倉時代には、土地を仲介とした将軍との主従関係に基づいて統治されていたことが分かる。

### 3 単元で培いたい学び方

政治の中心が貴族から武士に変わったことで、将軍と御家人は土地を仲介にして主従関係が成立し、武士の政権が誕生したこと。

### 4 内容のまとめりごとの評価規準 歴史的分野の内容(3)ア 「中世の日本」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
武家政権の成立とその後の政治、社会、文化の動きに対する関心を高め、意欲的に追究し、文化遺産を尊重しようとする。	武家政権の成立とその後の政治、社会、文化の動きから課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察している。	武家政権の成立とその後の政治、社会、文化の動きに関する様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し、考察した結果をまとめたり、説明したりしている。	武家政権の成立とその後の政治、社会、文化の動きを、我が国の歴史と関わる東アジア世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。

### 5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	武士が台頭し武家政権が成立したこととその後の武家社会の展開に対する関心を高め、意欲的に追究している。	貴族の政治から武士の政治への社会の変動を通して、武士が政治の権力を握り、土地を仲立ちにした政治のしくみを確立したことを多面的・多角的に考察している。	武士が台頭し、武家政権が成立したこととその後の武家社会の展開に関する絵画や文献などの様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した結果をまとめたり、説明したりしている。	武士が台頭し武家政権が成立したこと、その後の武家社会の展開を理解するとともに、その間の東アジア世界とのかかわりに気付き、その知識を身に付けている。
学習活動における具体的評価規準	意欲的に単元を貫く課題を見つけようとしている。	歴史の表舞台に武士が登場した理由を多面的に考察している。  武士の多くが幕府側についてた理由を、幕府と武士の「土地」を仲立ちにした関係から考えることができる。	鎌倉文化の特徴を自分で選択した資料から見つけることができる。	鎌倉幕府の政治のしくみが簡素なものであるとともに、将軍と御家人とは土地を仲立ちにした主従関係を結んでいたことを説明できる。  武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを説明することができる。

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
1 武士の成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習学習内容とこれからの学習内容を比較し、そこから課題を見つけ、学習の見通しを持つことができる。</li> <li>武士が地方政治の乱れの中から誕生し、天皇家や貴族と結びつくことで政治の上で大きな力をふるうようになったことが分かる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>略年表から今まで学習してきた歴史的事象とこれから学習する事象との違いを見つけ、単元を貫く課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">なぜ武士が政治の実権を握るようになったのか。</div></li> <li>武士が歴史の主人公として登場してきた理由を追究する。 《追究の視点》 ア 戦い...保元・平治の乱 イ 政治...平氏の朝廷への進出 ウ 権力の維持...自分の土地を守る</li> <li>平氏はどのような政治をしたか確認する。</li> <li>今日の学習のまとめをする。</li> </ol>	<p>ア - 意欲的に単元を貫く課題を見つけようとしている。</p> <p>イ - 歴史の表舞台に武士が登場した理由を多面的に考察している。</p>	<p>発言内容 天皇・貴族の政治から武士の政治に変わったことを見つけているか分析する。</p> <p>ノートへの記述・発言内容 武士が登場した理由を追究の視点に沿って考えているか分析する。</p>	<p>略年表（自作）</p> <p>源氏・平氏の系図 各地の武士団と地方の争乱 保元・平治の乱の対立図 <small>（歴史資料）</small></p> <p>天皇・貴族の争いに武士がどのような立場で力をつけていったか着目させる。 荘園との関係を説明する。</p>
2 武家政権の成立	<p>源頼朝が、今までの公家の政治とは違った独自の政治のしくみと、「御恩と奉公」の関係にもとづき、武家政治を始めたことが分かる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>頼朝はどのようにして平氏を倒したのか、資料を使って確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">頼朝はどのような政治をしようとしたのか。</div></li> <li>鎌倉幕府のしくみを資料から調べる。</li> <li>土地制度にかかわる朝廷と幕府の違いについて説明する。</li> <li>幕府を支えていた武士の生活について調べる。</li> <li>今日の学習のまとめをする。</li> </ol>	<p>エ - 鎌倉幕府の政治のしくみが簡素なものであるとともに、将軍と御家人とは土地を仲立ちにした主従関係を結んでいたことを説明できる。</p>	<p>ノートへの記述・発言内容 律令政治と比較しながら武士の政治の特徴を調べているか確認する。 学習のまとめへの記述 学習のまとめから、幕府の新しい支配のしくみについて理解しているか分析する。</p>	<p>源平の戦い <small>（歴史資料）</small></p> <p>鎌倉幕府のしくみ 守護と地頭の設置 <small>（歴史資料）</small></p> <p>封建社会のしくみ <small>（昨）</small></p> <p>「一遍聖絵」<small>（瀬瀬）</small> 「武士の暮らし」 「御成敗式目」 <small>（歴史資料）</small></p> <p>「御恩と奉公」の関係を説明する。</p>
3 承久の乱	<p>源氏の直系が途絶え、朝廷が北条氏追放の命令を出したにも関わらず、承久の乱に勝ち幕府の力が強まったのは、将軍と御家人との間に土地を媒介とした強い主従関係が結ばれていたからということ、複数の資料を通して考察し、自分なりの言葉で説明することができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>幕府が成立してから承久の乱までの過程を説明する。</li> <li>幕府軍と朝廷軍の人数を比較する。 朝：1700 1万数千 幕：18 19万 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">なぜ19万人もの武士が幕府軍についてのか。</div></li> <li>配布資料・前時までの資料をもとに、課題について考える。</li> <li>武士にとって幕府側について最大の理由は何か考える。</li> <li>今日の学習のまとめをする。</li> </ol>	<p>イ - 武士の多くが幕府側について理由を、幕府と武士の「土地」を仲立ちにした関係から考えることができる。</p>	<p>発言の内容・学習のまとめへの記述 勝利の大きな要因として、土地とのつながりについて触れていたり、記述されているか分析する。</p>	<p>幕府が支配していた地域 北条氏の勢力拡大の過程表 源氏の系図 後醍醐天皇の室 <small>（昨）</small></p> <p>北条政子の言葉 <small>（自作）</small></p> <p>武士にとっての土地（領地）の重要性を考えさせる。</p>
<p>源頼朝は、それまでの貴族の政治とはまったく違う、新しい政治を始めたんだ。それは「御恩と奉公」という、土地を仲立ちにした主従関係で、将軍は御家人のため・御家人は将軍のためという強い結びつきが生まれた。だからこそ御家人は、自分の土地を守りいつでも将軍に奉公できるように、日頃から武芸の訓練をしていたんだ。</p> <p>頼朝が死んで源氏の直系が途絶え、御家人のよりどころがなくなりかけていたにもかかわらず承久の乱に勝つことができたのは、すでに「御恩と奉公」の主従関係が強く結ばれており、その仲立ちとなる土地に対する強い気持ちがあったからこそなんだ。</p>					

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
4 鎌倉時代の宗教と文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉時代の宗教や建築・絵画・彫刻・文学作品などの分析を通して、鎌倉時代の文化は力強く、明解で武士の気風をよく表現しているものであることがわかる。</li> <li>今までの学習を振り返り、武士が政治の実権を握ることができた理由や次単元への学習意欲を単元レポートテストに分かりやすくまとめ、文章によって表現することができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>農民の生活の向上について調べる。</li> <li>資料から鎌倉時代と平安時代の文化の特徴の予想を立てる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">鎌倉時代の文化の特徴を調べよう。</span></li> <li>「文化」「宗教」の両面の資料から鎌倉時代の特徴を考え交流する。</li> <li>今日の学習のまとめをする。</li> <li>単元レポートテストを行う（単元のまとめ）</li> </ol>	<p>ウ - 鎌倉文化の特徴を自分で選択した資料から見つけることができる。</p> <p>エ - 武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを説明することができる。</p>	<p>ノートへの記述・発言内容 武士の性質に合った素朴で力強く、分かりやすいこと・その文化の一角として農民が台頭してきたことを見つけているか分析する。</p> <p>レポートテストの記述内容 武士の登場から、武家による全国支配の過程やその理由、それに対する自分の考えをわかりやすくまとめているか分析する。</p>	<p>農民と地頭・産業の発達<small>(殿持頼朝)</small> 東大寺南大門・平等院鳳凰堂<small>(殿持頼朝)</small></p> <p>金剛力士像 円覚寺舍利殿 新しい仏教<small>(殿持頼朝)</small> 鎌倉時代の宗教の内容と特色<small>(頼朝)</small></p>
<p>鎌倉時代というのは、日本の歴史の大きな変化の一つだったんだな。それまでの天皇・公家の政治から武士の政治に変わり、世の中も武士の気風にあったものに変化をしていった。これから室町・安土桃山・江戸と武士の政治がずっと続くことになるが、その中で世の中はどんなふうに変化していくんだろう。鎌倉時代自体はほかの時代と比べると短いのはなぜだろう。この疑問をもって次の学習に取り組みたい。</p>					